



別所だより

横浜市立別所小学校 令和5年4月21日発行



リーダーとしての6年生に期待

校長 大島 宏二

新学期が始まり、4月に着任をした私にとっては、毎日が新しい出来事の連続で、慌たしい日々を過ごしておりました。ふと気が付くと入学式の頃の桜色に包まれた景色から、若葉の緑が鮮やかな爽やかな季節に移り変わっていました。ゴールデンウィークまでもう一息です。

4月3日に着任してからの数日、校長室に運び入れた荷物の整理と本校に関わる様々な情報を頭に入れようと、朝から夜まで慣れないデスクワークが続き、少し疲れ気味でした。そのような中、6日には新年度準備で6年生が登校をしてきたので、仕事の手を休め、校長室を出て活動の様子を見に行きました。翌日の入学式・始業式に向けて1年生の教室の準備や式場となる体育館のセッティングを丁寧に行う姿、下級生が気持ちよく学校生活をスタートできるようにと、昇降口や靴箱の中をきれいに掃除する子どもたちの姿から元気をもらうとともに、最上級生としての自覚が感じられ、明るい気持ちになりました。

活動終了時には、各担当場所から体育館に6年生が集合することになりました。きれいに整えられた体育館に入る際、足ふきマットで自分の上履きの汚れを丁寧にふき取ってから入場する、細やかな心配りのできる子どもたちを見て、とても嬉しくなりました。また、全体を統括する職員から6年生に向けて「今日は、ありがとうございました。」と頭を下げられると、それに呼応して頭を下げ返す人数の多さに、別所小の子どもたちの素直さが感じられました。その後、5年時の担任からは、「今日の新年度準備を下級生が休んでいる中でみんなが行ったように、“リーダーとは、真っ先に気付いて動けることが大事”。」と話があり、真剣な表情で子どもたちは聞き入っていました。

私にとって別所小の子どもたちとの最初の出会いがこの素敵な6年生の姿だったので、これから始まる1年間に期待が高まりました。6年生一人ひとりには、“みんながリーダー、みんなのリーダー”の意識をもって頑張ってもらいたいです。